



かけはし

令和3年(2021年)

長沢中

7月19日

学校だより

発行責任者

NO. 13

校長 星野 嘉朗

学校教育目標 命一杯に生きる ～向上心 貢献心 自立心～
深く考え行動する生徒



今年の梅雨は、久しぶりに梅雨らしい梅雨となりました。蒸し暑い日が続きます。梅雨明けも間近です。しかし、コロナウイルス感染症は終わりが見えない状況が続いています。熱中症とコロナ対策両方のバランスをとって、しばらくはいかねばなりません。

2年ぶりの本格的な夏休み…

「節目」に求められる「自立」

の力!

さて、2年ぶりの本格的な夏休みが、目前に迫っています。4月から始まった今年度の4分の1が終わろうとしています。竹でいえば「節目」です。この「節目」の時期を何を目標にして、どんな風に過ごすのか一人ひとりにとって大切な期間であることは、承知していると思う。三者面談でもいろいろと担任の先生から言われたはず。学校や勉強という普段縛り付けられているものから解放されるからこそ、気持ちもウキウキしてくるはず。ただし、逆を言えば、縛りが弱いからこそ、一人一人の「自立」の度合いが問われることにもなるのです。人は誰でも楽しいことや楽なことへ流れていきがちです。そこで、流されず、自分自身で踏ん張ることができるか、そこが問われているのです。これこそ「深く考え行動する」力が少しでも、皆さんの中に育っているかということです。夏休みがあれば、すぐに前期の期末試験と言われてもまだ、一か月以上先の話ですから、あまりピンとは来ないでしょう。だからこそ、大きな

流れで夏休み全体の過ごし方を考えてほしいのです。今までの規則正しい生活を崩してしまうのは簡単なことです。しかし、緩んだ生活や気持ちを引き締めて元に戻していくのはとてもエネルギーが必要になります。前期後半のスタートが順調に切れるかどうかは、夏休みの終わりに生活や気持ちが元に戻っているかどうかです。夏休みが終われば、期末試験、体育祭とどんどん大きな行事が動き出して、あっという間に流れていってしまいます。その流れを、自分のものにしていくことが皆さんにとって大切な「生きる力」となります。人それぞれにペースがあるでしょうから、そのペースを自分でどのようにコントロールできるか、つまり、「自立の力」が大きいものをいうのが、この長い夏休みです。

第28回体育祭に向けての

動きが始まりました!!



6月に生徒会からの提案を受け、いよいよ本格的に体育祭に向けての動きが始まりました。昨年度はコロナ禍1年目という中で、今までとは異なり大きく縮小となりました。今年度も状況を考えると厳しいものがあります。一昨年前と同様の形で取り組むことは難しいので、昨年同様に縮小した形で行うことになりました。しかし、生徒の活動として行えるものは形を変えながらも取り組ませたい、という先生方の熱



意もあり、デコレーションの取り組みと応援団のエール交換を加えることとしました。また、生徒会種目として昨年の綱引きに加えて、大縄跳びにも取り組む予定です。

9月以降のコロナの状況がどのようになっているかはわかりませんが、保護者や地域の皆さまの参観については、昨年同様の形で制限をかけさせていただかざるを得ませんが、



ご了承をいただきたいと思えます。詳細が決まりましたらお知らせいたします。まずは生徒の活動を優先し、取り組み

を成功させ、一人ひとりの成長につなげていければと考えています。今年度は赤と黄の2カラーの対抗戦となります。13日には2つのカラーの作戦団・応援団が集まったの団会議が行われ、各活動のリーダーが決まりました。デコ団も集まり組織づくりが行われ、いよいよ本格的な活動が始まろうとしています。

	赤軍	黄軍
カラー長	平野 友也さん	佐々木 希さん
作戦団長	戸田 幸佑さん	宮本 芽桜さん
応援団長	望月 加奈さん	河野 慈永さん
デコ長	安崎 大智さん	

3年進路説明会…いろいろありますが大切な時期に入ってきました



7月15(木)16(金)日は三者面談が全学年で行われました。暑い中、それぞれお越しいただきありが

とうございました。短い時間の中で、有意義な話ができただしょうか。夏休み中や夏休み後の見通しをもつことができたでしょうか。

7月8日(木)の5・6校時を使って、3年生の進路説明会が行われました。湘南学院高等学校、県立津久井浜高等学校、市立横須賀総合高等学校から担当の先生をお招きし、こ



れからの進路に向けての取り組み方や、私立と公立の高校の違いや普通科と総合学科の違い、また、私立独自のコースなどについて説明を受けました。生徒だけでなく保護者の皆さんにも参加していただき、それぞれの説明に真剣に聞き入る姿が印象的でした。



トップアーティストが目の前で…



7月12日(月)に1年生の音楽の授業で、シティーサポートヨコスカのトップアーティスト派遣事業の一環

として、「じょんがら節」で有名な津軽三味線の国内トップクラスの奏者である栗原武啓さんに来校していただき、1クラスずつ1時間ずつの授業ですが、本物の演奏も含めて「三味線」の授業を行っていただきました。栗原さん自身も、今回のような授業形式での演奏は初めてということで、色々とお話していましたが、1年生の聴く姿勢の良さと、クラスごとそれぞれの反応に非常に「勉強になった」とお話しされました。本物の演奏を目の前で見ることができた1年生にも大きな刺激になったことと思います。CDやビデオではない本物に触れることの大切さを感じました。栗原さん、そして企画をしてくださったシティーサポートヨコスカの担当の皆さんに感謝申し上げます。

